



2026 KYOJO CUP RACE REPORT

FUJI SPEEDWAY

Rd.1

5.9[sat] - 10[sun]

[place] 富士スピードウェイ (静岡県小山町)

[weather] sat 晴れ sun 曇り

[spectators] 9,400人

Rd.1	FUJI SPEEDWAY	MAY 9 - 10
Rd.2	FUJI SPEEDWAY	JUL 18 - 19
Rd.3	FUJI SPEEDWAY	SEP 5 - 6
Rd.4	FUJI SPEEDWAY	OCT 10 - 11
Rd.5	FUJI SPEEDWAY	OCT 31 - NOV 1

2026 KYOJO CUPが開幕！ 齋藤愛未はファイナルで追い上げ3位表彰台を獲得、 バートン・ハナもスプリントでの遅れを挽回し8位。 ポイントを獲得。

QUALIFYING/SPRINT

QUALIFYING 天候:晴れ | 気温:21℃ | 路面温度:25℃ SPRINT 天候:晴れ | 気温:21℃ | 路面温度:35℃

2026 KYOJO CUP Round1 が5月9日・10日に行われた。SCS TEAM TOM'S は、#36 齋藤愛未 (さいとう あいみ) と #37 バートン・ハナを起用し、シリーズチャンピオンを目指す。9日の予選で齋藤は3番手、ハナは6番手と好位置につけた。同日午後のスプリント(10周)では、齋藤がスタートで出遅れてポジションを落とすも、後半に1台を抜いて5位でフィニッシュ。一方のハナは1周目の混戦によりパナソニック オートモチーブコーナーでスピンを喫して後退したが、粘り強く追い上げて12位でレースを終えた。



FINAL

天候:晴れ | 気温:21℃ | 路面温度:35℃

15周で争われたファイナルは、スプリントレースの結果順でグリッドに整列。5番グリッドからスタートした齋藤は1周目で8番手までポジションを下げるも、前日のスプリントで課題だったレースペースを大幅に改善し、次々とライバルをオーバーテイクしていった。9周目に1分45秒265のファステストラップを記録すると、残り4週のGRコーナーでさらに1台をパスして3位に浮上。見事、開幕戦で表彰台を獲得した。一方、12番グリッドからスタートしたハナは、中団グループのなかで着実にポジションを上げ、最終的に8位。貴重なポイントを獲得した。



RESULTS



QUALIFYING	
3位	
SPRINT	FINAL
5位	3位
QUALIFYING	
P3/1'43.982	
Sprint	
P5/1'45.217	
FINAL	
P3/1'45.265 Fastest Lap	
DRIVER'S RANKING	
3位 TOTAL POINTS 16	

36 齋藤 愛未 | AIMI SAITO
SCS TEAM TOM'S | SCS TOM'S KYOJO KC-MG01

RESULTS



QUALIFYING	
6位	
SPRINT	FINAL
12位	8位
QUALIFYING	
P6/1'44.126	
Sprint	
P12/1'45.390	
FINAL	
P8/1'45.741	
DRIVER'S RANKING	
8位 TOTAL POINTS 3	

37 バートン・ハナ | HANA BURTON
SCS TEAM TOM'S | SCS TOM'S KYOJO KC-MG01

TOM'S



Driver
齋藤 愛未

スプリントではペースがなくて苦戦しましたが、その後ちょっとアジャストしてもらったことで、すごく良い方向に向かって、自分が求めているクルマの動きになってくれたので、フィーリングがとても良かったです。ただ、課題はスタートです。スプリントでは加速のタイミングが周りとは合わず、出遅れてしまいました。対策をしたつもりでしたが、ファイナルでも順位を下げました。次戦に向けてしっかり改善したいです。



Driver
ハートン・ハナ

ファイナルでポジションを上げることはできましたけど、齋藤選手に比べてペースが良くないので、そこは課題です。今回の路面コンディションに合わせた走り方をしようと集中しましたが、なかなかうまくいきませんでした。そんな中でもポイントを獲得することができたので、今回の反省点を踏まえて次戦もがんばります。応援よろしくお願いします。



Team Director
伊藤 大輔

齋藤選手はスタートでポジションを下げる展開になりましたが、すごく力強い走りで挽回して、きちんと表彰台を獲得できたことはシーズンのスタートとしては良かったです。今回のような堅実な走りができれば、今後もチャンスはあると信じています。ハナ選手は、スプリントのスタート直後にスピンする事態となりました。経験の少ない彼女にとって、上位から中団グループでしっかりとバトルをすることを今大会のテーマにしていたので、しっかりと実行してくれて、内容的には満足できるものだったと思います。



SCS

STELLAR CURATION SUPERVISION

GR TOYOTA
GAZOO
Racing

GR
TGR

BRIDGESTONE

AZAPA

カオしす
カローラ静岡

KINTO

熊本トヨペット

SAISHUNKAN
GROUP

TAKAMA
COMPETITION
PRODUCTS